

旭小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・本年度、全学年で生活科や総合的な学習の時間を使って、地域の「人・もの・こと」について学び、校区のよさを感じてきました。そこで学んだことを、「あさひっ子発表会」で保護者や地域の方に発信をしました。下記は活動の概要です。旭小学校では、校区の特色を生かして ESD の活動をすすめ、地域に愛着をもち学び続ける力を育てています。

・活動の実際

① ピアパワー！旭の町をやさしさアップ（3年生）

3年生は、「みんなが暮らしやすい町旭校区」をテーマに校区の公園、福祉施設等を見学し、身近なところにユニバーサルデザインやバリアフリーなど誰もが暮らしやすい工夫がされていることに気づきました。また、認知症サポーター講座を通して、お年寄りがどんな手助けを必要としているかを学びました。

「まわりの人と協力して、困っている人をすすんで助きたい」という思いをもちました。



② ごみをへらすためにできること（4年生）

ごみについて調べると、ごみが原因で命を失っている海の生き物や、最終処分場の空きが少ないことなどの問題点に気づきました。6月には出前講座で講師を招き、豊橋市はごみを11種類に分別することを学びました。正しく分別することで、リサイクルされる物が増え、ごみの量を減らすことができることを知りました。「あさひっ子発表会」では、3Rを意識した行動や正しい分別など自分たちができることを考え、一人一人の行動が大切だと地域の人へ呼びかけました。



③ わたしたちができる防災（5年生）



南海トラフ地震では、旭校区でも大きな被害が予想されています。そこで、出前講座で講師を招き、起震車や避難所設営の体験を通して、地震の恐ろしさや大変さを感じました。

被害を少しでも減らすために、防災グッズの準備や家具の固定など、自分たちができることを考え、「あさひっ子発表会」では、地震時の災害を少なくするための手だてを参観者に呼びかけるとともに、事前の備えの大切さを訴えました。

④ 郷土の歴史を探究する（6年生）

第二次世界大戦を小学生で体験された方の話を聞き、戦争の恐ろしさを実感しました。豊橋公園に陸軍の第18連隊があったことを知り、ユネスコ協会の方と公園内の戦争遺跡を見学しました。戦争遺跡について話を聞くことで、いつも利用している公園に多くの歴史があることを学び、今の生活が恵まれていることに気づきました。「平和の尊さを次の世代へ受け継いでいきたい」という思いをもち、平和活動についての考えを深めました。

